

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)141号				
事業毎の通番		14	市町村名	南牧村	箇所名(ふりがな)	市場坂(いちばざか)			
事業概要	事業目的	国道141号は、郡下町間、また佐久市臼田と各町村間相互の往来を担うほか、山梨県境を越える物流交通や、日本有数の高原野菜の産地であり、農産物出荷等の大型車交通が多い幹線道路である。しかし、当該区間は旧構造規格であり、降雨・降雪など厳しい気象条件下にあり、安全走行上十分とは言えず、交通事故が多発している。 また、交通事故等が発生すると代替機能を担う道路が無く、日常の住民生活や経済活動に大きな影響を与えており、交通事故未然防止対策のほか、事故発生を想定した混乱回避対策を図るため早期整備が必要である。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり (暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：8,000台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	5年間	事業費 (千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成31年度	費用対効果	1.8		国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容 (主な工種)	道路築造工 L=520m W= 9.0 (11.0)m			270,000	162,000		97,200	10,800
	年度事業内容 (主な工種)								
	事業効果	直接的効果 (定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 3億円 緊急輸送路(1次)の整備						
		間接的効果 (定量的・定性的)	物流の効率化						
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：なし ○交通結節点アクセス：中部横断 野辺山IC(仮)アクセス ○観光地アクセス：野辺山高原、清里高原へのアクセス道路 ○地域の活性化：観光ネットワーク、農産物(高原野菜等)の流通拠点アクセス						評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：広域道路網マスタープラン ○緊急輸送路の路線指定：県緊急輸送路(1次) ○地域指定：振興山村地域						評価	B
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.8 ○事業期間：5年(H27~H31) ○代替案の検討：なし ○他事業との連携：なし						評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H24 4件 ○危険箇所対策：落石点検危険箇所(南牧村 海ノ口中之条)の解消 ○歩道整備：なし ○道路構造：現況幅員6.0m						評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有：なし ○地域の取り組み：例年、南牧村からの改良要望がある ○地域の合意形成：合意形成は図られていない ○住民との協働：住民関与は低い						評価	C
	部意見	現道は2車線が確保されており、現在の交通状況や周辺道路の整備状況を踏まえ、検討したい。	行政改革課意見	必要性が認められる。	評価結果	総合評価			
					B				

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)			
	【整備の必要性がわかる状況写真等】			
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該箇所は、平成16年から平成23年に交通安全事業にて登坂車線の整備を行っているが、当該区間は登坂車線が未整備の状況となっている。国道141号は緊急輸送道路にも指定されている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年南牧村から登坂車線整備の要望がある。		
	③事業説明等の経緯	地元説明は未実施であるが、今後、熟度を高めていく。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	長野県地域防災計画(第1次 緊急輸送路)		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	当該路線は野辺山高原へのアクセスルートであり、自然環境に配慮した計画を検討する。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、高原野菜等 農産物の物流拠点アクセスに寄与するものと期待される。		
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 00' 05" 東経:E 138° 30' 16"	